

令和元年第10回

武蔵村山市教育委員会定例会

令和元年10月18日

武蔵村山市教育委員会

令和元年第10回武蔵村山市教育委員会定例会

1. 日 時 令和元年10月18日（金）

開会 午前 9時30分

閉会 午前10時05分

2. 場 所 武蔵村山市役所5階 委員会室

3. 出席委員 池谷光二（教育長） 比留間 雅 和
杉原 栄 子 潮 美 和
大野 順 布

4. 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	田代 篤	学校教育担当部長	高橋 良友
指導担当参事	勝山 朗	教育総務課長	井上 幸三
教育施設担当課長	指田 光春	学校給食課長	矢野 喜之
防災食育センター整備担当課長	児玉 眞一	文化振興課長	中村 顕治
スポーツ振興課長	前原 光智	図書館長	三條 博美
指導主事	加藤 由裕	指導主事	石井 和成

5. 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係 市場 直樹
吉野恵里加

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 その他

◎開会の辞

○池谷教育長 本日の会議に際し、2名の方から傍聴の申出があり、武蔵村山市教育委員会会議規則第29条の規定に基づき、会議の傍聴を許可しましたので報告いたします。

本日の出席委員は全員でございます。

これより令和元年第10回武蔵村山市教育委員会定例会を開会いたします。

◎議事日程の報告

○池谷教育長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりでございます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 ありがとうございます。

御異議なしと認め、配付のとおり決定いたします。

◎日程第1 会期の決定

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 前回会議録の承認

○池谷教育長 日程第2、前回会議録の承認を議題といたします。

本件は、これを承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、本件は承認されました。

本日の会議録の署名は、大野委員にお願いいたします。

◎日程第3 教育長報告

○池谷教育長 日程第3、教育長報告を議題といたします。

1点目でございますが、令和元年度教育関係寄附に対する感謝状の贈呈者一覧についてでございます。

資料1を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、令和元年度教育関係寄附に対する感謝状の贈呈者一覧について、御報告いたします。

平成30年9月1日から令和元年8月31日までの間で、市の表彰規程に当てはまらない本市の学校教育、社会教育のために寄附をしていただいた個人及び団体に対しまして、教育委員会から感謝状を贈呈したいと考えております。

初めに、学校への寄贈について御報告いたします。

まず、第二小学校に対しまして、青梅信用金庫様から、集会用テントの寄贈がございました。

次に、歴史民俗資料館への寄贈でございます。岡崎義隆様から、戦争資料書籍一式の寄贈が、武蔵村山市消防団第五分団様から半鐘の寄贈が、服部安太郎様から安晴堂製菓道具一式の寄贈が、高橋伊勢司様から土器片等の寄贈が、また乙幡信行様から乙幡家文書等の寄贈がございました。

次に、図書館への寄附でございます。武蔵村山市更生保護女性会様から、図書購入を目的とした寄附がございました。武蔵村山市更生保護女性会様からは、毎年、御寄附をいただいております。

以上、今年度の感謝状の贈呈は7件となっております。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、2点目でございます。令和元年度 学校選択制申請状況（令和2年度入学）についてでございます。

資料2を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、令和元年度 学校選択制申請状況（令和2年度入学）について、御報告申し上げます。

令和2年4月に中学校に入学する新1年生を対象とした学校選択制の申請を、9月に受付をした結果でございます。本年度は129人の申請がございました。なお、今後、三者面談を実施することから、申請者への結果通知は12月上旬を予定しております。

入学対象者数は786人で、約16.4%の児童が学校選択制の申請を行っております。なお、平成29年度については771人の入学予定者のうち、申請は134人で17.4%、平成30年度については754人の入学予定者のうち、申請は118人で15.6%の実績でございました。

上段の表を御覧いただきたいと思います。

各中学校の状況でございますが、表の縦が転入、横が転出でございます。

第一中学校は転入78人、転出37人、41人の増。村山学園中学部は転入1人、転出5人、4人の減。第三中学校は転入23人、転出7人、16人の増。大南学園第四中学校は転入26人、転出6人の20人の増。第五中学校は転入1人、転出74人、73人の減となっております。

中段の表、主な理由でございますが、友人関係、部活動、通学距離、兄弟関係、その他の主な理由では、学校パンフレット、進学実績、伝統や校風などが挙げられております。

下段の表、右側の申請後入学予定者、クラス数予定の欄を御覧いただきたいと思います。

こちらにつきましては、今後、学校選択の辞退者などが発生することにより、変動することがございます。あくまでも現時点での学校選択の申請件数を基礎として算定した数値ということになりますが、参考として御報告させていただきます。

第一中学校は229人で7クラス、村山学園中学部は69人で2クラス、第三中学校は141人で5クラス、大南学園第四中学校は129人で4クラス、第五中学校は174人で5クラスでございます。なお、クラス数につきましては、令和2年度に東京都の学級編制基準が、中一ギャップの教員加配により、35人学級編制となった場合によるものでございます。

また、今後、就学予定の転入者につきましては、受入枠の範囲内での選択が可能となっております。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、3点目でございます。第44回市立中学校総合体育大会の結果についてでございます。

資料3を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導担当参事から報告いたします。

勝山指導担当参事、お願いします。

○**勝山指導担当参事** それでは、第44回市立中学校総合体育大会の結果について、御報告いたします。

本年度の市立中学校総合体育大会は、7月3日に開会式を行い、以降、市内各中学校の運動部活動6種目において、学校対抗の試合形式で競技が行われました。

7月3日の開会式では、エキシビジョン競技を行わない形式での開会式を、今年度初めて行いました。当日は御多用の中、教育長、教育委員の皆様を初め、多くの方に御参加をいただきました。実施いたしました6種目の競技に658人の中学生が参加いたしました。結果等につきましては、資料3の裏面に掲載いたしました。

教育委員会といたしましては、今後とも中学校の部活動の一層の活性化を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○**池谷教育長** 続きまして、4点目でございます。令和元年度武蔵村山市立小・中学校研究発表会についてでございます。

資料4を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、指導担当参事から報告いたします。

勝山指導担当参事、お願いします。

○**勝山指導担当参事** それでは、令和元年度武蔵村山市立小・中学校研究発表会について、御報告いたします。

こちらは本年度実施いたします研究発表の日時等について、一覧にまとめたものでございます。

1段目、小中一貫校村山学園が、令和元年10月30日水曜日、3段目、第九小学校が令和2年2月7日金曜日に市の特色ある学校づくり推進校としての発表を行います。両校の研究発表会には、市内全小・中学校の教員が参加をいたします。

2段目、小中一貫校村山学園の本年度2回目の研究発表会は、東京都プログラミング教育推進指定校として、令和2年1月29日水曜日に実施いたします。

4段目、第一小学校は、東京都持続可能な社会づくりに向けた教育推進校としての中間発表の位置付けで、令和2年2月19日水曜日に実施いたします。

全ての学校の研究発表は、それぞれ重要な教育課題への取組となっていることから、できる限り多くの教員が参加できるよう、各校長に依頼をしたところでございます。

教育委員会といたしましては、各学校の研究を通して、児童・生徒の生きる力を育めるよう引き続き支援をしてまいります。

以上でございます。

○池谷教育長 続きます、5点目でございます。令和元年度授業改善推進プランについてでございます。

資料5を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

加藤指導主事、お願いします。

○加藤指導主事 それでは、令和元年度授業改善推進プランについて、御説明いたします。

授業改善推進プランは、東京都教育委員会及び本市教育委員会が実施した児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果分析等に基づき、授業を改善するための計画として、各学校において作成したものでございます。

資料5には、武蔵村山市立学校全校分の授業改善推進プランを行政順でとじてございます。今年度作成した中で、特徴的な2校に絞り、御説明いたします。

まずは第八小学校です。50ページを御覧ください。

第5学年を対象とした都調査の結果分析です。

白丸の部分を御覧いただきますと、対都平均において一定の成果があらわれていることがうかがえます。成果が出た1つの要因として、課題の分析による取組の焦点化があります。

算数では、昨年度に比べ正答率が高い観点が示されております。昨年度の課題として、立式から回答を導く際に、答えの数量をあらかじめ予想させる指導の工夫や、下位層の底上げを計画的に取り組むことが挙げられておりました。今年度の成果は、こうした分析から問題を焦点化して授業改善を行った結果であると考えます。

これらの課題に基づいて、51ページの全体計画がまとめられております。課題を改善するための取組としては、下の段にあります授業改善に向けた視点、学校共通で取り組む事項の中で、学習が遅れがちな児童への支援として、完全週5日制を生かして個別学習支援を行うこと、児童の学習と行動を見とって学習状況を分析し、学習支援に生かすことを位置付けています。

また、52ページからの各学年の推進プランを見ますと、算数の各学校の部分には、問題解決学習の授業展開の中で、発表検討場面の時間確保を十分にすること、互いの考えの共通点や相違点に着目させることなどを、指導方法の工夫の重点とすることが掲げられております。

このような学校全体で一貫した取組を進めることで、子供たちの学力が身に付いていくと考えます。

次に、大南学園第四中学校について御説明いたします。

152ページを御覧ください。

上の段は、第2学年を対象とした都調査の結果分析です。

観点別結果の分析についてですが、第四中学校と都の平均正答率と比較いたしますと、昨年度よりもどの教科においても差は小さくなっております。また、正答率が下回っている観点については、具体的に取り組む事項が挙げられております。昨年度の改善プランの中では、定期テスト後のテスト直しレポートの取組、お互いに教え合うグループ活動の実施、学習の改善点を生徒に考えさせ、共有させる取組等が挙げられておりました。こうした指導方法の改善が、今年度の成果につながっているものと考えます。

下の段の第1学年を対象とした市調査の結果分析を御覧ください。

内容別結果の分析を見ると、基礎学力の確実な定着と、その活用能力の向上が課題として挙げられております。これらの課題に基づいて、153ページの全体計画がまとめられています。課題を改善するための取組としては、下の段にあります授業改善に向けた視点、全校共通で取り組む事項に記載されております。

各教科において補充学習、発展学習の充実を図るとともに、夏季休業中等の各学年教科補習教室を実施し、生徒それぞれの学力向上を図っていきます。

そして、154ページからの各学年の推進プランでは、各教科において定期的な小テストや単元テストの実施、実際に学んだことを活用できるように、テーマ設定の工夫や単元をまとめるレポートの作成、個々の学習のつまずきに応じた質問教室の実施などが盛り込まれています。

以上、2校について御説明させていただきました。

各学校においては、このプランを基に具体的に日々の授業改善を図っております。学力向上を図るためには、児童・生徒が課題とするものを、できるようになるまで反復する基礎・基本の定着と児童・生徒が主体的・対話的に学びを深められる授業改善が必要と考えます。教育委員会といたしましては、各学校のプランに基づいた各校の取組の充実に向けて、指導、助言をしてまいります。

また、新学習指導要領が目指す児童・生徒の学びが展開されるよう、若手教員研修会などの研修の場や、各学校での校内研究を通して指導してまいりますので、御理解を賜りますよ

うお願いいたします。

私からは以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、6点目でございます。第50回市民文化祭の開催についてでございます。

資料6、別冊を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

中村文化振興課長、お願いします。

○中村文化振興課長 それでは、第50回市民文化祭の開催について、御報告いたします。

資料6の市民文化祭プログラムを御覧いただきたいと思います。

今年度の市民文化祭は、令和元年11月2日土曜日から11月17日日曜日までの間の土曜日、日曜日、祝日に市民会館さくらホールで開催いたします。

主催は、武蔵村山市文化協会の市民文化祭実行委員会、共催が武蔵村山市教育委員会となっております。

今回は50回目の市民文化祭となっており、記念企画といたしまして、11月10日日曜日午後1時半から小ホールにてコンサートも開催いたします。

なお、開会式につきましては、11月2日土曜日の午前10時から市民会館さくらホールのエントランスホールで実施いたします。

教育長並びに教育委員の皆様には、お忙しいところ大変恐縮でございますが、御出席いただきますようお願いいたします。

市民文化祭は、市民の日頃の文化活動の成果を発表する場で、内容につきましては音楽や日本舞踊等の発表部門が10部門で、大ホール及び小ホールで行われます。囲碁や郷土史等の展示部門につきましては11部門で、展示室や会議室等で実施し、体験コーナー等を設ける部門もございます。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、7点目でございます。

令和元年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合の開催結果についてでございます。

資料7を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

前原スポーツ振興課長、お願いします。

○前原スポーツ振興課長 それでは、令和元年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合の開催結果について、御報告いたします。

9月14日土曜日に実施をいたしました本事業につきましては、開会식을午前9時30分から行った後、午前9時45分からは元プロ野球選手の和田一浩さん、元プロ野球トレーニングコーチの大迫幸一さんを講師にお招きした講演会及び野球教室を行いました。

市内少年野球チームや一般参加者など、167名が参加したところでございます。

講師としてお越しいただいた和田一浩さんに、アテネオリンピック野球競技の銅メダルをお持ちいただき、参加者などが直接オリンピックの銅メダルに触れる機会も提供したところでございます。

参加者の児童を中心に、講師に対して多くの質問も寄せられるなど、参加者の皆さんは熱心に取り組んでおりました。

午後1時30分から始球式を行った後、午後1時45分から少年野球選抜チームと古希軟式野球チームとの親善試合を行いました。

試合結果は、資料にお示しのとおりでございますが、4対4の同点で白熱した試合となりました。

本事業が1日を通し、盛大に開催できたことを報告いたします。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、8点目でございます。図書館除籍資料の無償配布についてでございます。

資料8を御覧いただきたいと思っております。

内容につきましては、図書館長から報告いたします。

三條図書館長、お願いいたします。

○三條図書館長 それでは、図書館除籍資料の無償配布につきまして、御報告をいたします。

本事業は、武蔵村山市立図書館資料廃棄基準に基づき、除籍した図書を市民へ無償配布をし、もって資料の再活用を図るものであり、毎年実施をいたしております。

今回は令和元年11月8日金曜日午後1時から市民に先駆けて市内小・中学校、幼稚園、保育園、児童館等の公共施設を対象に、また翌11月9日土曜日は午前10時から午後3時までを、市民の方を対象として実施いたします。

配布会場は、市民総合センター内教育センター集会室、配布資料は約7,800冊を予定しております。

以上でございます。

○池谷教育長 教育長報告は以上でございます。

9点目のその他でございますが、特に報告等はございません。

教育長報告に対する質疑等があればお受けいたします。

比留間職務代理人、お願いします。

○比留間職務代理人 学校選択制の申請状況について一つ述べさせていただきます。

この表を見ますと、この何年かの傾向というのでしょうか、今年もある学区域の子供たちが、ある学校の選択を希望するような状況が見受けられております。その学校の評判などということで、一つの流れができていのかなと思えるところなのですが、友人関係や部活動、通学距離等、またその評判というのも、選択理由の一つなのかもしれないのですが、これが本来の学校選択制の意図する結果であるのか、少し疑問に思うところもございます。

各校とも特色ある学校づくりということをはじめ、様々な取組によって学校運営に努力されているということは重々承知しております。その中で、もっと学校ごとのカラーというのを出していってもよいのではないかと思います。子供たちが中学校に行ったら、何を一生懸命やりたいのか、小学生たちが中学校にどのような魅力を感じて、希望を持って学校を選択するのか、またその親たちも子供の中学校生活において何をしてほしいのかという信念を持って進学させられるような仕組みというものを、今後つくっていったらなと思っております。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。そうですね。

その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 ただいまの比留間委員の発言に重なる部分があるかもしれませんが、学校選択について要望になると思いますが、資料を拝見いたしまして、今年度は選択理由という部分が、複数回答ではなかったもので、とても明確で分かりやすかったと思っております。

そんな中で、各学校のクラス数には差がある部分もございますが、少し偏りを感じた部分もあります。もちろんその理由は、こちらに書いてあるとお子様ではございますけれども、学校、学業、学力というのはもちろんのことですが、その他に部活動や校風という部分で、学校運営協議会を通して、それぞれ学校の特色を生かしていくことで、魅力ある学校づくりというのをさせていただけたらいいかなと感じております。

よろしく申し上げます。

○池谷教育長 御要望ということで、ありがとうございました。

その他、委員の皆さん、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 資料5について質問をいたします。

これを見ますと、各学校とも学校の実態に応じて、非常に分析してプランを立てられているというように思いました。先ほど指導主事の先生から、第八小学校は課題分析や焦点化によって、非常に一環した取組をされているとか、大南学園第四中学校の場合は、教え合うということで、基礎や活用ということを非常に重視しながら行って成果を上げているというお話がございました。各学校、実態に応じて取り組んでいるわけですが、平成29年の3月に学習指導要領の告示もありました。そのようなことや、教育委員会は武蔵村山市全体の学校が見えていると思いますので市全体の課題や成果を踏まえて、今年度この授業改善推進プランをつくっていただくに当たって、各学校に教育委員会としての方針を伝えられたようなことはございますか。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員から御質問ございました。

いかがでしょうか。

加藤指導主事、お願いします。

○加藤指導主事 お答えいたします。

こちらの授業改善推進プランにつきましては、教務主任会で教務主任の先生に作成を依頼しているところであります。内容につきましては、各学年におろしていただいて、各学年あるいは各教科担当の先生が作成しているところでありますが、その中で先ほどの八小の取組の中でも示しましたが、やはり学校として一環して推進できる取組、それから実効性のあるものということで、こちらとしては指示をしているところでございます。

以上です。

○池谷教育長 いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございました。

もう一点いいでしょうか。

○池谷教育長 お願いします。

○杉原委員 先日、水曜日に雷塚小学校の第三中学校区の公開の授業と研究の協議会があったわけですが、大変、問題解決学習を展開されていて、子供たちは非常によく取り組んでいる

という感想を持ちました。その中の算数で、円柱と角柱の体積の求め方で、子供たちが多様な角柱と、三角柱と四角柱が重なったような立体の体積を求めていろいろ解決をしていました。事前に模擬授業をされたことで、中学校の先生が模型をつくってくださっていたり、教材の見方が大変深まっているという感想を持ちました。

小学校で研究授業を行う場合には、この教材がこの後どのようにつながっていくかということを考えるわけですが、それが小学校だけじゃなくて、中学校へも見通して系統を考えて取り組んでいくというのは、非常に重要なことだと思いました。

また、実態や課題を受けて、どのように小学校、中学校で取り組んでいくかというようなことも重要だと思います。ぜひ、先日のように各学校区の学校と一緒に授業改善プランと合わせながら深めていただければありがたいなと思います。

これはお願いです。よろしくお願いします。

○池谷教育長 どうもありがとうございました。

その他。

大野委員、お願いいたします。

○大野委員 では、私からも学校選択制に関しまして、1件述べさせていただきたいと思えます。

学校によりましては、今回示されたこの資料2を見まして、ショックを受けるところもあるかと思えます。ただ、各学校には、この結果を踏まえまして、それぞれの魅力を一層高めるように、切磋琢磨していただくのが理想の姿かなと思っております。

ぜひ、この資料の活用に当たりましては、そのような観点から、その思いが伝わるように各学校に示していただければという思いをしておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

以上です。

○池谷教育長 どうもありがとうございました。そのような形でやらせていただきたいと思います。

その他、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 資料4についてです。

今年度、研究発表会について、4校予定されているわけですが、この研究発表は先生方がいろいろなことが学べるという点で、非常に価値が高いと思えます。そのような点でいえば、

先生方の指導力の向上にももちろんつながりますが、やはり他地区に移動したときに、研究発表の経験がないというのは、指導力の向上もそうですけれども、研究発表のあり方や、準備のあり方など、各学校でその取組に対して学べるものが多いので、ある意味では残念だと思います。管理職の方や先生方、職員の方の全体の動きを学べるという点でも、研究発表に大変期待しております。

そのため、他の学校もこれからもどんどん希望して出てくるような形、経験があるといいと思います。研究発表の機会を各学校にふやしていただくということを、ぜひお願いしたいと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、特にはよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって、教育長報告を終わります。

◎日程第4 その他

○池谷教育長 日程第4、その他に入ります。

委員からの報告等の御発言があればお受けいたします。

特にはよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 事務局からはございません。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

これをもって、その他を終わります。

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって、令和元年第10回教育委員会定例会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

午前10時05分閉会